(19)日本国特許庁(JP)　(12)公開特許公報(A)　(11)特許出願公開番号
特開2012-115346
(P2012-115346A)
(43)公開日　平成24年6月21日(2012.6.21)

(51)Int.Cl.		F I			テーマコード（参考）
A61F 13/49	(2006.01)	A41B	13/02	H	3B200
A61F 13/56	(2006.01)	A61F	13/18	350	
A61F 13/15	(2006.01)	A41B	13/02	R	

審査請求 未請求　請求項の数 5　ＯＬ　（全 12 頁）

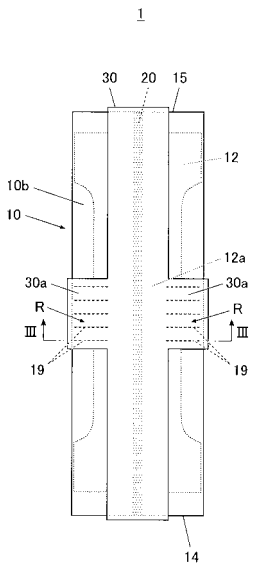
(21)出願番号　特願2010-265858 (P2010-265858)
(22)出願日　平成22年11月30日 (2010.11.30)

(71)出願人　390029148
大王製紙株式会社
愛媛県四国中央市三島紙屋町２番６０号
(74)代理人　100090033
弁理士　荒船　博司
(74)代理人　100093045
弁理士　荒船　良男
(72)発明者　巣山　潤之介
栃木県さくら市鷲宿４７７６－４　エリエールペーパーテック株式会社内

Ｆターム(参考)　3B200 AA01 AA03 BA13 BA16 BB11 CA11 DA12 DB05 DB22 DD01 DE03 DE06 DE10 EA09 EA23

(54)【発明の名称】吸収性物品

(57)【要約】　（修正有）
【課題】装着し易く体液漏れを低減できる吸収性物品を実現する。
【解決手段】インナーパッド１を使用する際に、粘着部材２０から剥離シート３０を剥離することに応じて弾性部材１９を収縮させ、バックシート１０ｂの両側の領域Ｒを収縮させることによって、粘着部材２０が設けられているバックシート１０ｂの幅方向中央側に張りを付与することで、バックシート１０ｂの中央側を平坦に保つことを可能にし、インナーパッド１から剥離シート３０を剥がした際に、粘着部材２０同士が貼り付いてしまわないようにした。そして、粘着部材２０の粘着性を低下させることなく、インナーパッド１を所定の対象物（例えば、下着や使い捨て紙おむつ）に適切に接着させることができ、装着者はインナーパッド１を股間に装着し易くなる。このインナーパッド１を適切に装着することによって体液漏れを低減することができる。
【選択図】図２



【特許請求の範囲】
【請求項１】
透液性のトップシートと、不透液性のバックシートと、前記トップシートと前記バックシートとの間に介装される吸収体と、を備える吸収性物品において、
前記吸収体の長手方向の中央側であって装着者の股間に位置する吸収体股間部は、当該吸収体の長手方向の両端部の幅より狭く形成されており、
前記吸収体股間部に対応する前記バックシートの幅方向中央側の表面には粘着部材が設けられ、
前記粘着部材を挟んだ前記バックシートの両側にそれぞれ当該バックシートをその幅方向に収縮させる弾性部材が設けられていることを特徴とする吸収性物品。
【請求項２】
前記粘着部材を所定の対象物に接着させるまで、前記粘着部材を保護する剥離シートを備え、
前記剥離シートは、前記バックシートに前記弾性部材が設けられた領域を覆うカバー部を有し、前記カバー部は、前記剥離シートが前記粘着部材から剥離されるまで前記領域が収縮しないように支持していることを特徴とする請求項１に記載の吸収性物品。
【請求項３】
前記領域における前記バックシートの表面に、前記剥離シートが前記粘着部材から剥離されるまで、前記カバー部と一時的に接着している補助粘着部材を設けたことを特徴とする請求項２に記載の吸収性物品。
【請求項４】
前記吸収体における、前記粘着部材を挟んだ両側に相当する部分にそれぞれエンボス凹部を設けたことを特徴とする請求項１～３の何れか一項に記載の吸収性物品。
【請求項５】
前記吸収体における、前記粘着部材を挟んだ両側に相当する部分にそれぞれスリットを設けたことを特徴とする請求項１～３の何れか一項に記載の吸収性物品。
【発明の詳細な説明】
【技術分野】
【０００１】
本発明は、吸収性物品に関する。
【背景技術】
【０００２】
従来、使い捨ての紙おむつや尿取りパッド、生理用ナプキン等の吸収性物品として、トップシートとバックシートの間に吸収体を介在させて成るものが用いられている。
そして、吸収性物品であるインナーパッドのバックシートの表面に粘着性の仮接着部を設け、そのインナーパッドを下着やおむつの内面に接着して使用することで、着用者が活発に動くことがあっても、インナーパッドが適切な装着位置からずれてしまわないようにしたものが知られている（例えば、特許文献１参照。）。
【先行技術文献】
【特許文献】
【０００３】
【特許文献１】特開２００４－８９２７０号公報
【発明の概要】
【発明が解決しようとする課題】
【０００４】
しかしながら、インナーパッドは幅の狭い股間部分に装着して使用するため、装着時に股下で圧縮されてしまい、インナーパッドを下着やおむつに接着する前に仮接着部同士が貼り付いてしまうことがあった。
インナーパッドの仮接着部同士が貼り付いてしまうと、インナーパッドを下着やおむつに接着し難くなるうえにその接着力が低下しているため、インナーパッドが所定の装着位

置からずれ易くなり、尿などの体液漏れが生じ易くなる恐れがあった。

【０００５】

本発明の目的は、装着し易く体液漏れを低減できる吸収性物品を提供することである。

【課題を解決するための手段】

【０００６】

以上の課題を解決するため、請求項１に記載の発明は、

透液性のトップシートと、不透液性のバックシートと、前記トップシートと前記バックシートとの間に介装される吸収体と、を備える吸収性物品において、

前記吸収体の長手方向の中央側であって装着者の股間に位置する吸収体股間部は、当該吸収体の長手方向の両端部の幅より狭く形成されており、

前記吸収体股間部に対応する前記バックシートの幅方向中央側の表面には粘着部材が設けられ、

前記粘着部材を挟んだ前記バックシートの両側にそれぞれ当該バックシートをその幅方向に収縮させる弾性部材が設けられていることを特徴とする。

【０００７】

請求項２に記載の発明は、請求項１に記載の吸収性物品において、

前記粘着部材を所定の対象物に接着させるまで、前記粘着部材を保護する剥離シートを備え、

前記剥離シートは、前記バックシートに前記弾性部材が設けられた領域を覆うカバー部を有し、前記カバー部は、前記剥離シートが前記粘着部材から剥離されるまで前記領域が収縮しないように支持していることを特徴とする。

【０００８】

請求項３に記載の発明は、請求項２に記載の吸収性物品において、

前記領域における前記バックシートの表面に、前記剥離シートが前記粘着部材から剥離されるまで、前記カバー部と一時的に接着している補助粘着部材を設けたことを特徴とする。

【０００９】

請求項４に記載の発明は、請求項１～３の何れか一項に記載の吸収性物品において、

前記吸収体における、前記粘着部材を挟んだ両側に相当する部分にそれぞれエンボス凹部を設けたことを特徴とする。

【００１０】

請求項５に記載の発明は、請求項１～３の何れか一項に記載の吸収性物品において、

前記吸収体における、前記粘着部材を挟んだ両側に相当する部分にそれぞれスリットを設けたことを特徴とする。

【発明の効果】

【００１１】

請求項１に記載の発明によれば、吸収性物品における弾性部材の収縮に伴い、粘着部材を挟んだバックシートの両側が収縮することによって、粘着部材が設けられているバックシートの幅方向中央側に張りが付与されて、バックシートの中央側が平坦に保たれるので、バックシート表面に設けられた粘着部材同士が貼り付いてしまうことがない。

そして、吸収性物品のバックシートの中央側が平坦に保たれていることで、そのバックシートの粘着部材を所定の対象物（例えば、下着や使い捨て紙おむつ）に適切に接着させることができるので、装着者は吸収性物品を股間に装着し易くなる。

特に、吸収性物品における粘着部材同士が貼り付いてしまうことがないため、粘着部材の粘着性を低下させてしまうことがない。そして、良好な粘着性を有する粘着部材を備えた吸収性物品を所定の対象物にしっかりと接着することが可能になり、吸収性物品を装着位置からずれ難くすることができ、体液漏れを低減することができる。

【００１２】

請求項２に記載の発明によれば、粘着部材を所定の対象物（例えば、下着や使い捨て紙おむつ）に接着させるまで、粘着部材の粘着性を低下させないように剥離シートで保護す

ることができるとともに、剥離シートが粘着部材から剥離されるまで、剥離シートのカバー部によってバックシートに弾性部材が設けられた領域が収縮しないように支持することができる。

そして、吸収性物品を使用するに際して、粘着部材から剥離シートを剥離して、吸収性物品から剥離シートを剥がし取ることによって、弾性部材が設けられたバックシートの両側の領域を収縮させて、粘着部材が設けられているバックシートの中央側に張りを付与することができる。

【００１３】

請求項３に記載の発明によれば、弾性部材が設けられた領域のバックシートの表面に、剥離シートのカバー部と一時的に接着している補助粘着部材が設けられているので、剥離シートが粘着部材から剥離されるまで、補助粘着部材はその粘着力によって、剥離シートのカバー部がバックシート両側の領域を収縮させないように支持することを補助することができる。

【００１４】

請求項４に記載の発明によれば、バックシートの両側の領域が収縮することによって、吸収体にも弾性部材の収縮力が加わることがあっても、エンボス凹部間の吸収体の中央側は変形しにくく、身体にフィットしやすい形状を保つことができる。その結果、吸収性物品からの体液漏れを低減することができる。

【００１５】

請求項５に記載の発明によれば、バックシートの両側の領域が収縮することによって、吸収体に弾性部材の収縮力が加わることで、吸収体のスリットの隙間を埋めるように吸収体はその幅方向中央側へ寄り易くなっている。そして、スリットの隙間を埋めるように吸収体がその幅方向の中央側へ寄ることで、吸収体の吸収体股間部の幅が装着者の股下のサイズに応じて調整され易くなっており、吸収体が身体にフィットしやすい形状になる。また、そのスリットの間隙を通じて、尿などの体液が吸収体の長手方向に拡散し易くなる。その結果、吸収性物品からの体液漏れを低減することができる。

【図面の簡単な説明】

【００１６】

【図１】本実施形態におけるインナーパッドを示す正面図である。

【図２】本実施形態におけるインナーパッドを示す裏面図である。

【図３】図２のIII－III線における断面図である。

【図４】インナーパッドから剥離シートを剥がした状態の裏面図である。

【図５】図４のV－V線における断面図である。

【図６】剥離シートを剥がしたインナーパッドを示す斜視図である。

【図７】インナーパッドの変形例を示す裏面図である。

【図８】インナーパッドの変形例を示す裏面図である。

【図９】インナーパッドの変形例を示す裏面図である。

【図１０】図９のX－X線における断面図である。

【図１１】インナーパッドの変形例を示す裏面図である。

【図１２】図１１のXII－XII線における断面図である。

【発明を実施するための形態】

【００１７】

以下、図を参照して、本発明に係る吸収性物品の具体的な態様を詳細に説明する。ただし、発明の範囲は、図示例に限定されない。

本実施の形態では、吸収性物品として、下着や使い捨て紙おむつの内部に備えて使用するインナーパッドを一例に説明する。

【００１８】

図１は、本実施の形態におけるインナーパッドを展開した状態の正面図である。図２は、同インナーパッドの裏面図であり、図３は、図２のIII－III線における断面図である。

また、図４は、インナーパッドから剥離シートを剥がした状態の裏面図であり、図５は

、図４のV－V線における断面図である。図６は、剥離シートを剥がしたインナーパッドを示す斜視図である。

【００１９】

図１～図６に示すように、吸収性物品であるインナーパッド１は、インナーパッド本体１０と、インナーパッド本体１０のトップシート１０ａ側に設けられた左右一対のギャザーシート１１，１１とを備えている。また、未使用状態のインナーパッド１は、インナーパッド本体１０のバックシート１０ｂ側に備えられた剥離シート３０を有している。

【００２０】

インナーパッド本体１０は、人体との接触面側に設けられて尿などの体液を速やかに透過させる透液性のトップシート１０ａと、人体との接触面と反対側に設けられる不透液性のバックシート１０ｂと、これらバックシート１０ｂとトップシート１０ａとの間に介装される吸収体１２等により構成されている。

また、このインナーパッド本体１０においては、人体の股部を腹側から背側にかけて覆うように、一方の端部に腹側部１４が形成され、他方の端部に背側部１５が形成されている。また、腹側部１４と背側部１５との間が股下部１６となっている。

【００２１】

吸収体１２は、インナーパッド１の使用時に、体液としての尿等の水様成分を吸収するものであり、綿やパルプ等の吸収性素材や、高吸水性樹脂（ＳＡＰ；Super Absorbent Polymer）や、繊維或いはフィルム等のシート状基材とを組み合わせて形成される。

吸収体１２は、インナーパッド本体１０の腹側部１４側から背側部１５側に亘る長さに形成され、この吸収体１２の長手方向の中央側の吸収体股間部１２ａは、吸収体１２の両端部の幅より狭く形成されている。つまり、吸収体１２の略中央側で股下部１６に相当する部分は、吸収体１２の両端部である腹側部１４や背側部１５に相当する部分より幅が狭く形成されて、砂時計様の形状を呈している。この吸収体股間部１２ａは、インナーパッド１（インナーパッド本体１０）を人体に装着した際に、装着者の股間に位置する。

このように、インナーパッド本体１０の股下部１６に相当する吸収体１２の吸収体股間部１２ａの幅を、その長手方向の両端部に比べて狭く形成することにより、インナーパッド１を人体に装着した際に、人体の股間（そけい部）において吸収体１２が人体にフィットしやすくなっている。

【００２２】

トップシート１０ａは、有孔または無孔の不織布や、多孔性プラスチックシートなどにより形成されている。不織布を構成する素材繊維としては、ポリエチレンまたはポリプロピレン等のオレフィン系、ポリエステル系、ポリアミド系等の合成繊維の他、レーヨンやキュプラ等の再生繊維、綿等の天然繊維を用いることができる。また、不織布を製造する方法としては、公知の方法を適宜用いることができ、例えば、スパンレース法、スパンボンド法、サーマルボンド法、メルトブロー法、ニードルパンチ法、或いはこれらを組み合わせた方法等によって不織布を製造することができる。

トップシート１０ａに多数の透孔を形成した場合には、体液がより速やかに吸収されるようになり、ドライタッチ性に優れたものとなる。

【００２３】

バックシート１０ｂは、ポリエチレン等の少なくとも遮水性を有するシート材により形成されている。また、ムレ防止の観点から透湿性（通気性）を有するシート材であることが好ましく、この遮水性と透湿性とを具備するシート材としては、ポリエチレンやポリプロピレン等のオレフィン系樹脂中に無機充填剤を溶融混練してシートを成形した後、一軸または二軸方向に延伸することにより得られる微多孔性シート材が好適に用いられる。

このバックシート１０ｂの幅方向の端部は、図３に示すように、それぞれバックシート１０ｂの内側へ向けて折り返されて、例えば、トップシート１０ａを挟み込むようになっており、この折り返されたバックシート１０ｂ部分はトップシート１０ａに固着されている。

【００２４】

また、バックシート１０ｂの幅方向中央側の表面には薄い層状に粘着部材２０が設けられている。粘着部材２０は、少なくとも吸収体股間部１２ａに対応するバックシート１０ｂの表面に設けられており、ここでは腹側部１４から背側部１５に亘って設けられている。

粘着部材２０は、インナーパッド１を使用する際に、下着や使い捨て紙おむつの内面に接着させることで、インナーパッド１が適切な装着位置からずれてしまわないようにする機能を有している。この粘着部材２０を下着や使い捨て紙おむつの内面に接着させるまで、その粘着性が低下してしまわないように、粘着部材２０を保護するための剥離シート３０が備えられている。

粘着部材２０の材料とする粘着剤としては、特に制限されず、例えば、ホットメルト粘着剤、エマルジョン系粘着剤、溶剤系粘着剤、オリゴマー系粘着剤、固系粘着剤などのいずれの形態の粘着剤であってもよい。粘着剤は、単独又は２種以上組み合わせて使用することができる。

【００２５】

また、バックシート１０ｂにおける吸収体股間部１２ａに対応する位置において、粘着部材２０を挟んだバックシート１０ｂの両側には、それぞれ複数（本実施形態では５本）の弾性部材１９が吸収体１２の長手方向と交差する方向に沿って略平行に備えられている。

弾性部材１９は、例えば、糸ゴム、ポリウレタン繊維等からなり、伸長された状態でバックシート１０ｂの表面に固定されており、バックシート１０ｂをその幅方向に収縮させるように設けられている。

【００２６】

剥離シート３０は、バックシート１０ｂの腹側部１４から背側部１５に亘って設けられた粘着部材２０を所定の対象物（例えば、下着や使い捨て紙おむつ）に接着させるまで、粘着部材２０の粘着性が低下してしまわないように、粘着部材２０を保護するために備えられている。

また、剥離シート３０は、バックシート１０ｂに弾性部材１９が設けられた領域Ｒを覆うカバー部３０ａを有している。このカバー部３０ａは、剥離シート３０が粘着部材２０から剥離されるまで弾性部材１９が設けられたバックシート１０ｂの領域Ｒが収縮しないように支持している。そのため、剥離シート３０、特にカバー部３０ａは、弾性部材１９（領域Ｒ）の収縮を押えるように、比較的剛性のある素材からなることが好ましい。なお、剥離シート３０のカバー部３０ａと、弾性部材１９が設けられた領域Ｒのバックシート１０ｂとは、図示しない仮接着部によって接着されており、剥離シート３０を剥離する際にその仮接着部からカバー部３０ａが剥ぎ取られるようになっている。

そして、インナーパッド１から剥離シート３０を剥離した際に、弾性部材１９が縮むことに伴いバックシート１０ｂがその幅方向に収縮するようになっている。

【００２７】

ギャザーシート１１，１１は、インナーパッド本体１０におけるトップシート１０ａ側に折り返されたバックシート１０ｂに、腹側部１４から背側部１５に亘って備えられている。このギャザーシート１１，１１は、不透液性のシートを二つ折りにし、折り合わされた面を、例えば、ホットメルトやヒートシール等により固着させることにより形成されている。ギャザーシート１１において、その不透液性のシートを二つ折りにした折り返し部分側の端部を自由端部１１ａ、バックシート１０ｂに固定された端部を固定端部１１ｂとする。

このギャザーシート１１の自由端部１１ａには、ギャザーシート１１の長手方向に沿って、複数の糸ゴム、ポリウレタン繊維等のギャザー用弾性部材１８が略平行に備えられている。このギャザーシート１１，１１がインナーパッド本体１０に固定された状態において、自由端部１１ａがインナーパッド本体１０から立設することにより、立体ギャザーが形成される。そして、このギャザー用弾性部材１８により立体ギャザーは、装着者の体型に合わせて伸縮自在に変形し、装着者にフィットしやすい構造となっている。

【００２８】
次に、インナーパッド１を使用するにあたり、剥離シート３０を剥離した際に弾性部材１９が収縮する効果について説明する。
【００２９】
未使用状態のインナーパッド１においては、バックシート１０側の粘着部材２０を保護するために剥離シート３０が備えられており、剥離シート３０のカバー部３０ａは、弾性部材１９が設けられたバックシート１０ｂの領域Ｒが収縮しないように支持している。
剥離シート３０が剥がされていないインナーパッド１は、図１から図３に示すように、比較的平らな形状を呈しており、このインナーパッド１を、例えば、三つ折にしたものを所定数、包装袋に封入したものが小売店等で陳列される形態である。
【００３０】
このインナーパッド１を使用するに際して、粘着部材２０から剥離シート３０を剥離して、インナーパッド１から剥離シート３０を剥がし取ると、図４から図６に示すように、弾性部材１９が収縮し、弾性部材１９が設けられたバックシート１０ｂの領域Ｒが収縮する。具体的に、弾性部材１９が収縮する際、バックシート１０ｂの両側の領域Ｒが吸収体１２の吸収体股間部１２ａ側に引き寄せられるように、バックシート１０ｂはその幅方向に収縮する。
そして、バックシート１０ｂの領域Ｒが収縮することに伴い、バックシート１０ｂの端が吸収体１２の吸収体股間部１２ａに引き寄せられることに応じて、そのインナーパッド１が使用時の立体形状に近い形に変化する。
【００３１】
特に、弾性部材１９が収縮してバックシート１０ｂの端が吸収体股間部１２ａに引き寄せられ、その引き寄せられた領域Ｒのバックシート１０ｂがその幅方向に収縮することによって、粘着部材２０が設けられているバックシート１０ｂの中央側は相対的にその幅方向に拡げられる。
つまり、弾性部材１９が収縮して、バックシート１０ｂの両側の領域Ｒが収縮することによって、バックシート１０ｂの中央側は相対的にその幅方向に拡げられるので、粘着部材２０が設けられているバックシート１０ｂの中央側が平坦に保たれる。
このようにバックシート１０ｂの幅方向両側の領域Ｒが収縮することによって、バックシート１０ｂの中央側に張りが付与され、バックシート１０ｂの幅方向中央側が平坦に保たれるので、粘着部材２０が設けられているバックシート１０ｂが弛むなどして、粘着部材２０同士が接着してしまうことがない。
【００３２】
以上のように、インナーパッド１は、使用時に粘着部材２０から剥離シート３０を剥離することに応じた弾性部材１９の収縮に伴い、バックシート１０ｂの両側の領域Ｒが収縮することによって、粘着部材２０が設けられているバックシート１０ｂの幅方向中央側に張りが付与されて、バックシート１０ｂの中央側が平坦に保たれるので、インナーパッド１から剥離シート３０を剥がした際に、粘着部材２０同士が貼り付いてしまうことがない。
そして、剥離シート３０を剥がしたインナーパッド１のバックシート１０ｂの中央側は平坦に保たれており、そのバックシート１０ｂの粘着部材２０を所定の対象物（例えば、下着や使い捨て紙おむつ）に適切に接着させることができ、装着者はインナーパッド１を股間に装着し易くなる。
特に、インナーパッド１を使用する際に、粘着部材２０から剥離シート３０を剥離した後、粘着部材２０同士が貼り付いてしまうことがないため、粘着部材２０の粘着性を低下させてしまうことがない。そして、良好な粘着性を有する粘着部材２０を備えたインナーパッド１を下着や使い捨て紙おむつにしっかりと接着することが可能になり、インナーパッド１を装着位置からずれ難くすることができ、体液漏れを低減することができる。
【００３３】
なお、本発明は上記実施形態に限られるものではない。

【００３４】
例えば、図７に示すように、バックシート１０ｂの長手方向の中央側であって、その幅方向中央側の表面に粘着部材２０を設けるとともに、バックシート１０ｂの腹側部１４と背側部１５にそれぞれ、バックシート１０ｂの幅方向に所定量離間して対を成す粘着部材２１，２１を設けてもよい。
このように、インナーパッド１ａのバックシート１０ｂの腹側部１４と背側部１５に粘着部材２１，２１を設けて、インナーパッド１ａにおける粘着部材量を増やすことによって、インナーパッド１ａを所定の対象物（例えば、下着や使い捨て紙おむつ）により強くに接着させることができ、所定の装着位置からインナーパッド１ａをより一層ずれ難くすることができる。
【００３５】
また、図８に示すように、粘着部材２０と粘着部材２１，２１に加えて、更に、弾性部材１９が設けられた領域Ｒのバックシート１０ｂの表面に補助粘着部材２２を設けてもよい。
補助粘着部材２２は、剥離シート３０が粘着部材２０から剥離されるまで、カバー部３０ａと一時的に接着しており、その粘着力によってカバー部３０ａがバックシート１０ｂの領域Ｒが収縮しないように支持することを補助する作用を奏している。
このように、インナーパッド１ｂのバックシート１０ｂにおける領域Ｒに補助粘着部材２２を設けることによって、剥離シート３０のカバー部３０ａが弾性部材１９（領域Ｒ）の収縮を押えて支持することを補助することができ、使用前のインナーパッド１ｂにおいて、より確実にバックシート１０ｂの領域Ｒが収縮してしまわないように支持することができる。
【００３６】
また、図９、図１０に示すように、吸収体１２における吸収体股間部１２ａに対応する位置であって、粘着部材２０を挟んだ両側に相当する部分にそれぞれエンボス凹部１２ｂを設けてもよい。
このように、インナーパッド１ｃにおける吸収体１２の吸収体股間部１２ａにエンボス凹部１２ｂを設けることによれば、インナーパッド１ｃを使用するに際して、粘着部材２０から剥離シート３０を剥離したことに伴いバックシート１０ｂの両側の領域Ｒが収縮することによって、吸収体１２にも弾性部材１９の収縮力が加わることがあっても、エンボス凹部１２ｂ間の吸収体１２の中央側は変形しにくく、身体にフィットしやすい形状を保つことができる。その結果、インナーパッド１ｃからの体液漏れを低減することができる。
【００３７】
また、図１１、図１２に示すように、吸収体１２における吸収体股間部１２ａに対応する位置であって、粘着部材２０を挟んだ両側に相当する部分にそれぞれスリット１２ｃを設けてもよい。
このように、インナーパッド１ｄにおける吸収体１２の吸収体股間部１２ａにスリット１２ｃを設けることによれば、インナーパッド１ｄを使用するに際して、粘着部材２０から剥離シート３０を剥離したことに伴いバックシート１０ｂの両側の領域Ｒが収縮することによって、吸収体１２に弾性部材１９の収縮力が加わることで、そのスリット１２ｃの隙間を埋めるように吸収体１２は幅方向中央側へ寄り易くなっている。
そして、スリット１２ｃの隙間を埋めるように吸収体１２がその幅方向の中央側へ寄ることで、吸収体１２の吸収体股間部１２ａの幅が装着者の股下のサイズに応じて調整され易くなっており、吸収体１２が身体にフィットしやすい形状になる。また、そのスリット１２ｃの間隙を通じて、尿などの体液が吸収体１２の長手方向に拡散し易くなる。その結果、インナーパッド１ｄからの体液漏れを低減することができる。
【００３８】
なお、以上の実施の形態においては、１枚の剥離シート３０で粘着部材を保護するようにしたが、本発明はこれに限定されるものではなく、例えば、インナーパッド１ｂの場合

、粘着部材２０と粘着部材２１，２１を保護する剥離シートと、補助粘着部材２２を保護するカバー部３０ａに相当する剥離シートとを別体に備えるようにしてもよい。

【００３９】

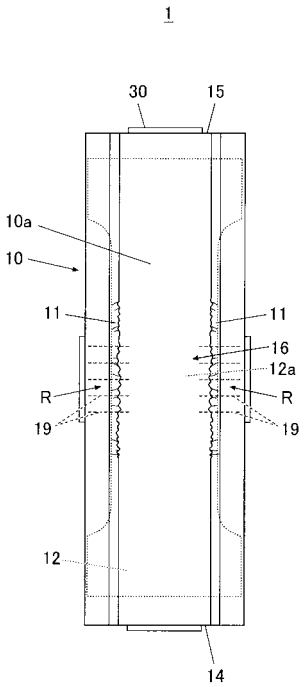
また、その他、具体的な細部構造等についても適宜に変更可能であることは勿論である。

【符号の説明】

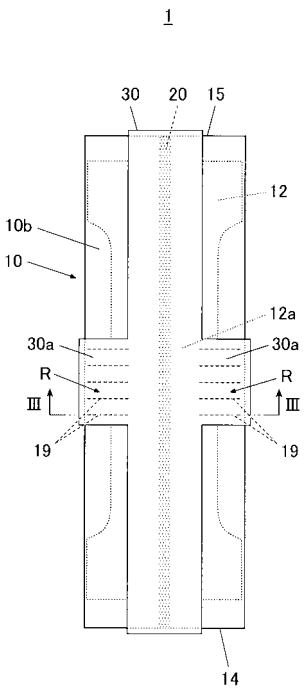
【００４０】

１、１ａ～１ｄ　インナーパッド（吸収性物品）
１０　インナーパッド本体
１０ａ　トップシート
１０ｂ　バックシート
１１　ギャザーシート
１２　吸収体
１２ａ　吸収体股間部
１２ｂ　エンボス凹部
１２ｃ　スリット
１９　弾性部材
２０　粘着部材
２２　補助粘着部材
３０　剥離シート
３０ａ　カバー部
Ｒ　領域

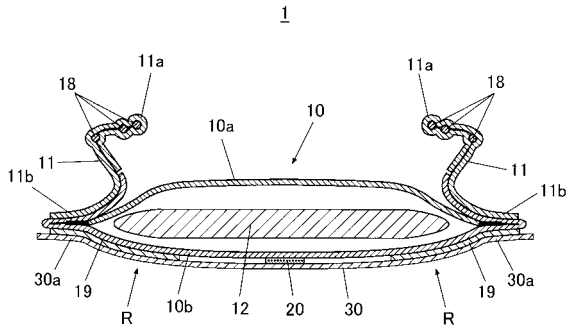
【図１】



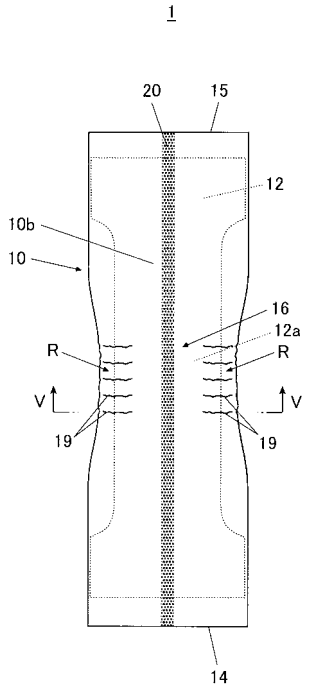
【図２】



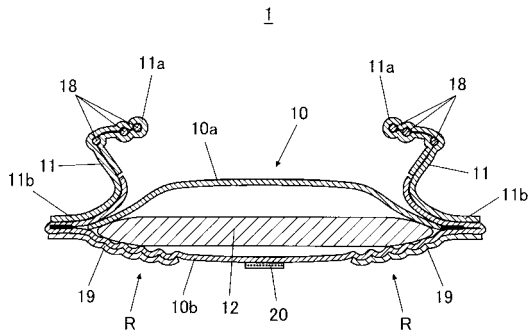
【図３】


1
11a
18
10
10a
11
11b
30a
19
R
10b
12
20
30

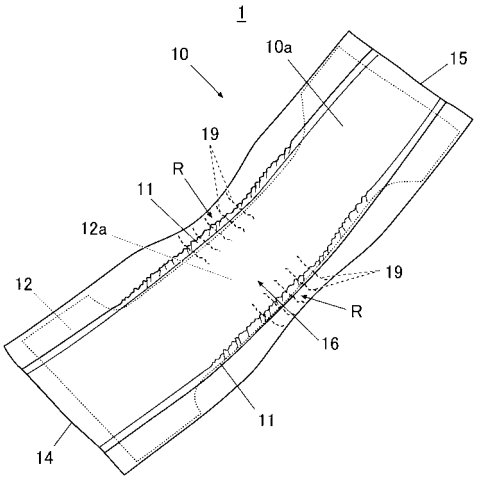
【図４】


1
20
15
12
10b
10
16
12a
R
V
19
14

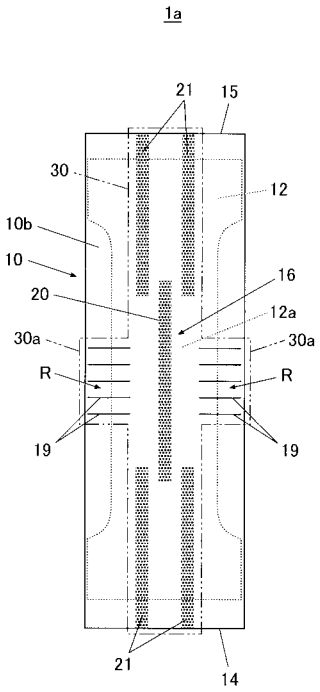
【図５】


1
11a
18
10
10a
11
11b
19
R
10b
12
20

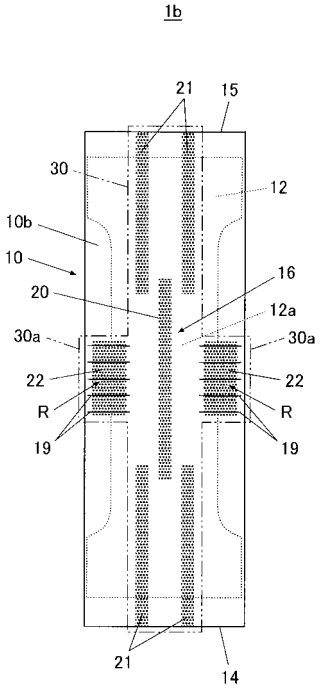
【図６】


1
10
10a
15
19
R
11
12a
12
16
14

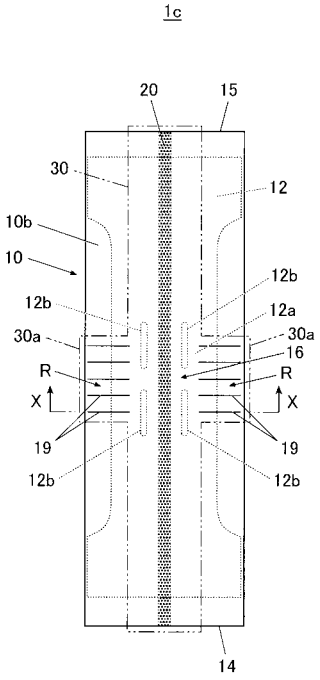
【図７】


1a
21
15
30
12
10b
10
16
20
12a
30a
30a
R
R
19
19
21
14

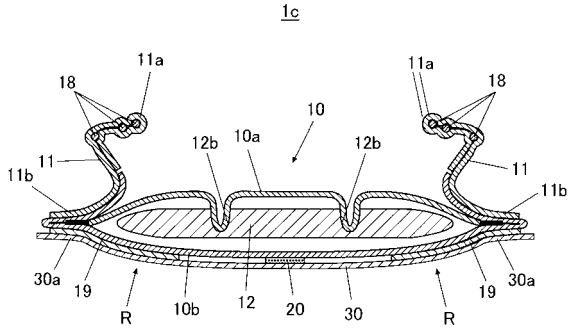
【図８】


1b
21
15
30
12
10b
10
16
20
12a
30a
30a
22
22
R
R
19
19
21
14

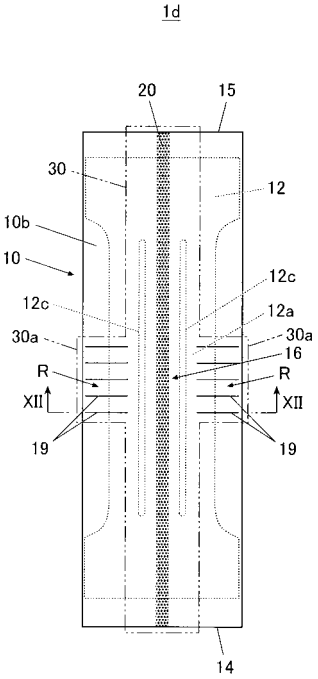
【図９】


1c
20
15
30
12
10b
10
12b
12b
12a
30a
30a
16
R
R
X
X
19
19
12b
12b
14

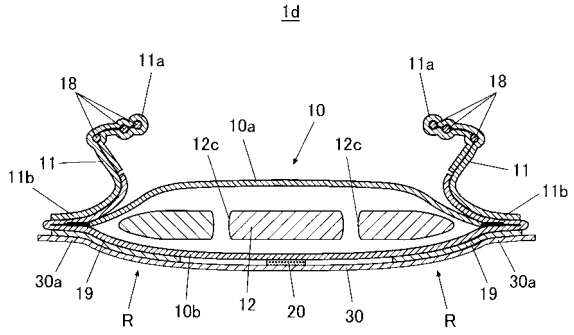
【図１０】


1c
11a
11a
18
18
10
12b
10a
12b
11
11
11b
11b
30a
19
R
10b
12
20
30
R
19
30a

【図１１】


1d
20
15
30
12
10b
10
12c
12c
12a
30a
30a
16
R
R
XII
XII
19
19
14

【図１２】


1d
11a
11a
18
18
10
10a
12c
12c
11
11
11b
11b
30a
30a
19
19
R
R
10b
12
20
30